



# TAISEI

たいせいサークル

# Circle

2002年度事業報告書



TAISEI  
*Circle*

C O N T E N T S

新経営計画の最終年度を迎えて	4
社長 葉山 莞児	

FINANCIAL DATA

業績の推移	6
2002年度決算のご報告	10
2002年度連結決算のご報告	14

ECOLOGICAL SOLUTION

第12回地球環境大賞・ 日本経済団体連合会会長賞を受賞	18
--------------------------------	----

TAISEI NOW

大成建設の鉄道&駅プロジェクト	20
JRセントラルタワーズ/りんかい線天王洲アイル駅/千葉都市 モノレール県庁前駅/岡山市駅元町地区第二種市街地再開 発事業/JR秋葉原駅 大改修/小田急小田原線 新宿駅南口 開発"新宿サザンテラス"/西武池袋線 練馬駅付近高架化	

UNDER CONSTRUCTION

主な施工中工事のご紹介	24
-------------	----

CONTRACTS RECEIVED

主な受注工事のご紹介	24
------------	----

CONSTRUCTION COMPLETED

主な完成工事のご紹介	26
------------	----

株式の状況	30
-------	----

会社の概要	32
-------	----

錦絵になった大成建設の仕事 「銀座煉瓦街」	34
--------------------------	----

株主メモ	
------	--

## 新経営計画の最終年度を迎えて



社長 葉山 莞児

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

建設業界は市場の縮小、価格競争の激化といった課題を抱え、予断を許さない状況が続いております。このようななかで当社グループは熾烈な競争に勝ち抜き、さらに健全で強い経営体質にすることを狙いとして、2001年度より「新経営計画」に取り組んでいます。

2002年度は、「受注の確保」「高い利益水準の維持」「財務体質の改善」などの施策を重点的に実施し、着実に成果をあげてまいりました。

「新経営計画」の最終年度にあたる2003年度は、「受注と利益の確保」「財務体質の強化」「組織のスリム化」「固定費の削減」にグループをあげて取り組み、経営体質のさらなる改善と業績の向上に努めてまいります。

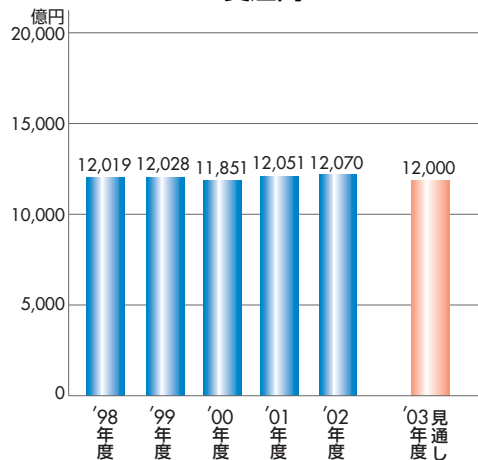
しかしながら「新経営計画」の数値目標につきましては、予想を上回る経営環境の急激な悪化などにより、計画最終年度（2003年度）における連結ベースでの受注高を1,400億円減の1兆5,600億円、売上高を900億円減の1兆5,500億円、経常利益を100億円減の400億円に修正させていただきます。なお有利子負債残高につきましては、目標どおり5,900億円を達成できる見通しです。

なお、当下半期の配当金につきましては、1株につき2円50銭とさせていただきます。

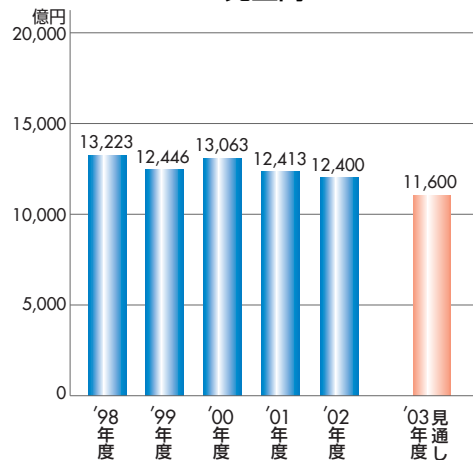
株主の皆様におかれましては、何卒ご理解とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## ● 単独決算

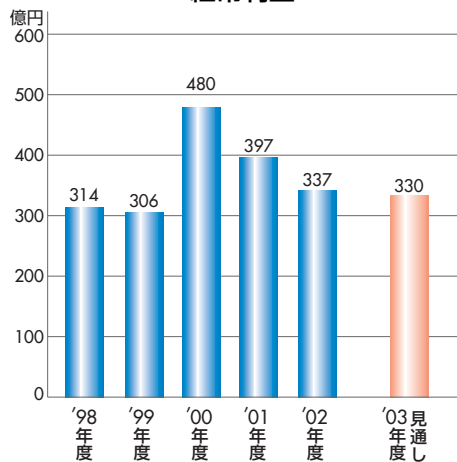
### 受注高



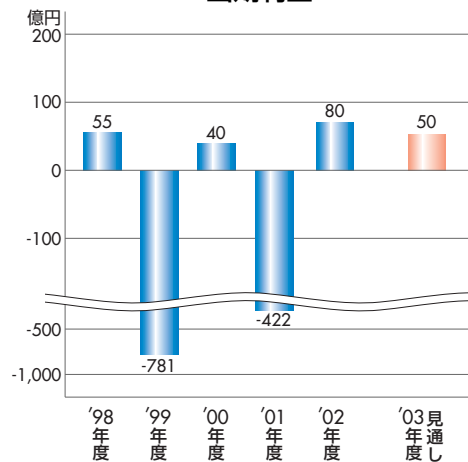
### 売上高



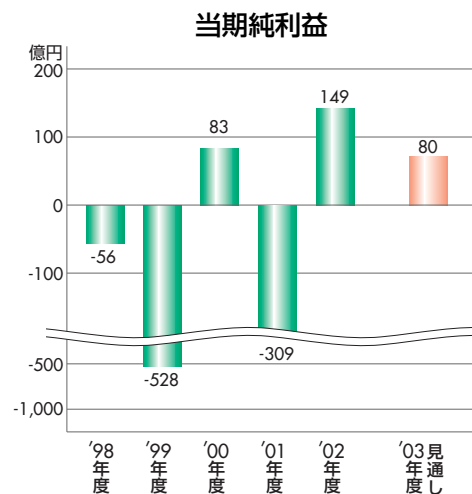
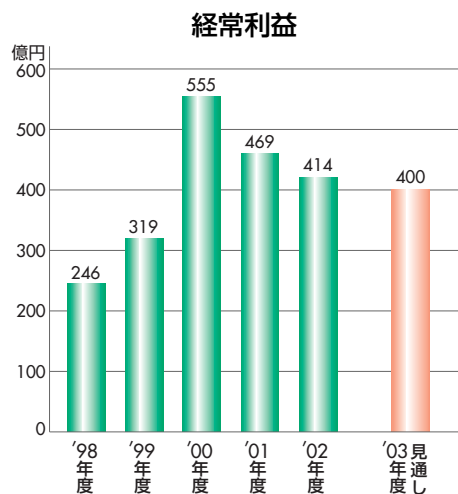
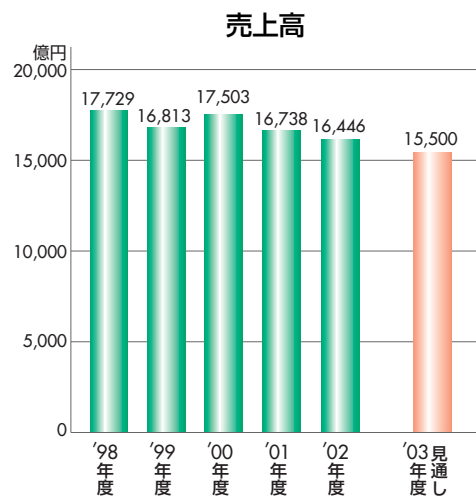
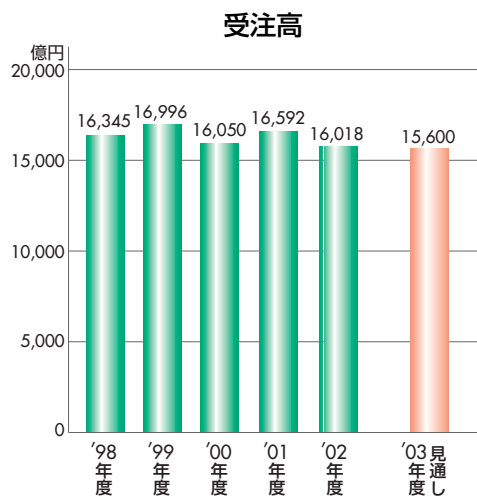
### 経常利益



### 当期利益



● 連結決算 (連結子会社47社 持分法適用関連会社7社)



# 2002年度決算のご報告

## ● 貸借対照表の要旨

(2003年3月31日現在)

(単位:億円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>9,847</b>	<b>流動負債</b>	<b>10,342</b>
現金預金	966	支払手形	943
受取手形	247	工事未払金	2,700
完成工事未収入金	2,388	短期借入金	1,564
販売用不動産	1,204	一年以内償還の社債	550
未成工事支出金	3,361	未払法人税等	5
開発事業等支出金	238	未成工事受入金	3,099
繰延税金資産	680	預り金	1,216
未収入金	658	完成工事補償引当金	12
その他流動資産	124	その他流動負債	251
貸倒引当金	△22	<b>固定負債</b>	<b>3,503</b>
<b>固定資産</b>	<b>5,965</b>	社債	500
<b>有形固定資産</b>	<b>1,708</b>	長期借入金	2,374
建物・構築物	540	退職給付引当金	445
機械・運搬具	36	役員退職慰労引当金	15
工具器具・備品	10	その他固定負債	168
土地	1,118	<b>負債合計</b>	<b>13,846</b>
建設仮勘定	2	<b>資本の部</b>	
<b>無形固定資産</b>	<b>90</b>	資本金	943
<b>投資等</b>	<b>4,166</b>	資本剰余金	612
投資有価証券	1,445	資本準備金	235
子会社株式・子会社出資金	562	その他資本剰余金	376
長期貸付金	931	資本準備金減少差益	376
破産債権、更生債権等	68	<b>利益剰余金</b>	<b>343</b>
長期前払費用	7	任意積立金	33
長期繰延税金資産	687	固定資産圧縮積立金	33
長期保証金	170	特別償却準備金	0
長期営業外未収入金	230	当期末処分利益	309
その他投資等	333	[当期利益] [ 80]	
貸倒引当金	△272	株式等評価差額金	66
<b>資産合計</b>	<b>15,812</b>	<b>自己株式</b>	<b>△0</b>
		<b>資本合計</b>	<b>1,966</b>
		<b>負債資本合計</b>	<b>15,812</b>

- (注) 1. 子会社に対する短期金銭債権 262億円  
 子会社に対する長期金銭債権 817億円  
 子会社に対する短期金銭債務 1,148億円  
 子会社に対する長期金銭債務 1億円  
 2. 商法第290条第1項第6号に規定する純資産額 70億円  
 3. 担保に供している資産  
   販売用不動産 20億円  
   子会社株式 0億円  
   長期貸付金 0億円  
   計 21億円  
 4. 保証債務額 195億円  
 5. 一株当たりの当期利益 8円31銭  
 6. 有形固定資産の減価償却累計額 621億円

## ● 損益計算書の要旨

(2002年4月1日から  
2003年3月31日まで)

(単位:億円)

経常損益の部	
<b>営業損益</b>	
売上高	12,400
完成工事高	12,209
開発事業等売上高	190
売上原価	11,263
完成工事原価	11,082
開発事業等売上原価	180
売上総利益	1,137
完成工事総利益	1,127
開発事業等売上総利益	10
販売費及び一般管理費	724
<b>営業利益</b>	<b>412</b>
<b>営業外損益</b>	
営業外収益	46
受取利息配当金	41
その他営業外収益	5
営業外費用	121
支払利息	87
貸倒引当金繰入額	14
貸倒損失	0
その他営業外費用	19
<b>経常利益</b>	<b>337</b>
<b>特別損益の部</b>	
特別利益	95
前期損益修正益	28
投資有価証券売却益	60
その他特別利益	6
特別損失	228
投資有価証券評価損	79
販売用不動産評価損	61
関連事業損失	53
その他特別損失	34
<b>税引前当期利益</b>	<b>204</b>
法人税、住民税及び事業税	10
法人税等調整額	113
<b>当期利益</b>	<b>80</b>
前期繰越利益	31
利益準備金取崩額	221
中間配当額	24
<b>当期末処分利益</b>	<b>309</b>

- (注) 1. 工事進行基準による完成工事高 2,365億円  
 2. 売上高のうち子会社に対する部分 302億円  
 3. 売上原価のうち子会社からの仕入高 2,636億円  
 4. 子会社との営業取引以外の取引高 18億円

## ● 利益処分

当期末処分利益		円	30,951,397,889
任意積立金取崩額	円		
固定資産圧縮積立金取崩額	16,859,445		
特別償却準備金取崩額	7,924,915	24,784,360	
合 計			30,976,182,249
<b>利益処分数額</b>			
株主配当金	(一株につき2円50銭)	2,411,512,100	
任意積立金			
固定資産圧縮積立金	11,300,119		
特別償却準備金	53,637		
別途積立金	21,500,000,000	23,922,865,856	
<b>次期繰越利益</b>			<u>7,053,316,393</u>

(注)2002年12月10日に、2,411,847,413円(一株につき2円50銭)の中間配当を実施した。

## ● 決算のポイント

## ◆ 貸借対照表について

総資産につきましては、前年度比0.5%の減少となり、前年度とほぼ同水準となりました。

純資産につきましては、当期利益を計上した結果、利益剰余金は増加しましたが、株式等評価差額金が減少したこと等により、前年度比5.3%の減少となりました。

なお、有利子負債残高は前年度比0.2%減の4,988億円となりました。

## ◆ 損益計算書について

売上高につきましては、前年度比0.1%減の1兆2,400億円となり、前年度と同水準となりました。

経常利益につきましては、販管費を大幅に削減したものの、工事利益の減少に伴い、前年度比15.1%減の337億円となりました。

当期利益につきましては、前年度は保有資産の見直し等に伴う特別損失の計上により大幅な損失を計上しましたが、当年度は80億円の利益に転じました。

## ● 連結貸借対照表の要旨

(2003年3月31日現在)

(単位:億円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	11,736	<b>流動負債</b>	12,174
現金預金	1,294	支払手形・工事未払金等	4,427
受取手形・完成工事未収入金等	3,313	短期借入金	2,414
未成工事支出金等	3,658	一年以内償還の社債	550
たな卸不動産	1,936	未成工事受入金	3,287
繰延税金資産	726	預り金	1,100
その他流動資産	839	完成工事補償引当金	15
貸倒引当金	△32	その他流動負債	379
<b>固定資産</b>	7,198	<b>固定負債</b>	4,800
<b>有形固定資産</b>	3,854	社債	575
建物・構築物	2,161	長期借入金	2,877
機械・運搬具・工具器具備品	738	再評価に係る繰延税金負債	32
土地	2,324	退職給付引当金	644
建設仮勘定	55	役員退職慰労引当金	30
減価償却累計額	△1,425	関係会社投資等損失引当金	151
		その他固定負債	487
<b>無形固定資産</b>	135	<b>負債合計</b>	16,974
<b>投資等</b>	3,209	<b>少数株主持分</b>	215
投資有価証券	1,511	<b>資本の部</b>	
長期貸付金	132	資本金	943
繰延税金資産	720	資本剰余金	612
再評価に係る繰延税金資産	0	利益剰余金	102
その他投資等	914	土地再評価差額金	30
貸倒引当金	△69	その他有価証券評価差額金	70
		為替換算調整勘定	△14
		自己株式	△0
		<b>資本合計</b>	1,745
<b>資産合計</b>	18,934	<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	18,934

## ● 連結損益計算書の要旨

(2002年4月1日から  
2003年3月31日まで)

(単位:億円)

経常損益の部	
<b>営業損益</b>	
売上高	16,446
完成工事高	14,492
開発事業等売上高	1,953
売上原価	14,694
完成工事原価	13,145
開発事業等売上原価	1,548
売上総利益	1,752
完成工事総利益	1,347
開発事業等売上総利益	405
販売費及び一般管理費	1,257
<b>営業利益</b>	494
<b>営業外損益</b>	
営業外収益	68
受取利息	21
受取配当金	19
その他の	27
営業外費用	148
支払利息	109
貸倒引当金繰入	14
貸倒損失	0
その他の	23
<b>経常利益</b>	414
<b>特別損益の部</b>	
特別利益	129
前期損益修正益	33
固定資産売却益	32
投資有価証券売却益	59
その他特別利益	3
特別損失	253
固定資産売却損	14
投資有価証券売却損	12
投資有価証券評価損	102
販売用不動産評価損	67
固定資産除却損	7
関連事業損失	26
その他特別損失	23
<b>税金等調整前当期純利益</b>	290
法人税、住民税及び事業税	23
法人税等調整額	118
少数株主損失	1
<b>当期純利益</b>	149



## ● 決算のポイント

### ◆ 貸借対照表について

総資産につきましては、未成工事支出金の減少及び保有株式の時価下落などにより、前年度比3.7%減となりました。

純資産につきましては、当期純利益を計上した結果、利益剰余金は増加しましたが、その他有価証券評価差額金が減少したこと等により、前年度比1.9%減となりました。

なお、有利子負債残高は前年度比3.4%減の6,417億円となりました。

### ◆ 損益計算書について

売上高につきましては、建設事業で前年度実績を下回ったため、前年度比1.7%減の1兆6,446億円となりました。

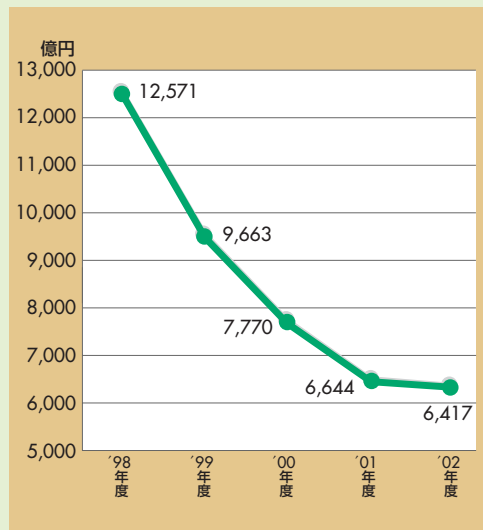
経常利益につきましては、当社における減少が影響し、前年度比11.7%減の414億円となりました。

当期純利益につきましては、当社と同様、前年度は保有資産の見直し等に伴う特別損失の計上により大幅な損失を計上しましたが、当年度は149億円の利益に転じました。

## ● 主たる連結子会社

大成ロテック(株)	東証一部上場
大成ユーレック(株)	東証一部上場
有楽土地(株)	東証二部上場
成和機工(株)	
大成設備(株)	
大成サービス(株)	
(株)大成情報システム	
ケーヨーリゾート開発(株)	
有楽土地住宅販売(株)	
大成建設ハウジング(株)	

## ● 有利子負債残高





## 第12回地球環境大賞 日本経済団体連合会 会長賞を受賞

地球環境大賞は「産業の発展と地球環境との共生」をめざし、地球環境保全の活動に熱心に取り組む企業などを表彰するものです。第6回の環境庁長官賞に続き2度目の受賞となる今回は、当社の環境保全活動の取り組みが評価されたもので、循環型社会形成に向けて、建設会社の社会的責任がますます重要度を増す中で、当社のこれからの取り組みにも、大きな励みとなるものです。受賞事由となったプロジェクトを紹介します。

### 【エコシート（環境配慮チェックシート）】

設計本部では、1999年より、エコシート（環境配慮チェックシート）を用いた環境配慮設計を行い2000年度～2001年度の2年間に省エネ効果を2%向上させました。また、省エネ効果を定量的に算定する省エネ評価ツール「aurora（オーロラ）」を2000年より導入。基本設計・実施設計の2段階で省エネルギー・環境負荷の低減に取り組んでいます。



### べつかい 【別海資源循環試験施設】

乳牛のふん尿をメタン発酵させ、生じたメタンガスを燃料にして、電気と温水を得る発電プラントです。メタン発酵後に得られる液状かす（液肥）を肥料として有効利用するなど、有機物資源としての再利用と産業廃棄物やその処理コストの低減にもつながる循環型社会形成のリサイクル事業です。



### あご 【英虞湾再生プロジェクト】

赤潮の発生・貧酸素化、海底へのドロ化などの環境悪化が進行している英虞湾での、真珠養殖漁場の水質環境の修復・改善への取り組みです。海水と生態系変化を高精度で予測する「水域環境シミュレーションシステム」の開発や、地域と一体となった干潟・藻場の造成など、総合的な環境再生対策を実施しています。



※「地球環境大賞」とは、日本工業新聞社・フジサンケイグループが、(財)世界自然保護基金ジャパンの特別協力と、経済産業省、環境省などの後援を得て1992年に創設した表彰制度です。

### 【大成建設環境報告書2003】

当社の環境保全への取り組みを紹介した「大成建設環境報告書2003」が7月中旬に完成予定です。郵送をご希望される方は、下記アドレスまで、Eメールにてお問い合わせください。

■E-mail:info@eco.taisei.co.jp

TAISEI NOW

# 活力のある 都市活動のために

## 大成建設の 鉄道&駅プロジェクト

駅は、移動のための中継点から、地域の中心施設・街の顔へと発展しています。また、駅は、駅施設としての利便性・安全性・機能性の向上をはかりながら、都市再生の中心施設としての役割も期待されています。大成建設は、誰もが利用しやすく価値ある“鉄道と駅”をめざして、さまざまなプロジェクトに参画しています。

### 都市施設としての機能強化

再開発、駅前広場整備  
(駐車場、ペDESTリアンデッキ等)、  
駅舎、プラットホームのリニューアル  
(バリアフリー化、耐震補強等)...

### 駅関連プロジェクト

#### 路線の 改良・機能強化

高架化、地下化、複々線化...

#### 鉄道ネットワークの 強化

新線乗り入れ、延伸、  
新駅整備、新交通導入....

### JRセントラルタワーズ

名古屋旧駅ビル跡地に建設されたJRセントラルタワーズは、駅全体をひとつの都市空間として考え、敷地を垂直に重ねた「立体都市」の発想で設計されています。地上51階のオフィスタワーと地上53階のホテルタワー。低層部にはデパート、レストラン、多目的ホールと多彩な施設が備わり、名古屋の新しい顔として生まれ変わりました。





22

### りんかい線天王洲アイル駅

新木場駅と大崎駅の8駅12.2キロを走るりんかい線は、各線との乗り入れによって池袋・新宿・渋谷・大崎・臨海副都心を1本の路線で結ぶ首都圏の新たなネットワークを形成しています。先行開業した天王洲アイル駅は、かつてない急速化施工で建設。“水辺の街”をイメージした鮮やかなブルーが印象的です。



### 千葉都市モノレール 県庁前駅

千葉都市モノレール1号線の起点駅として整備された、斬新なデザインの駅舎です。市内屈指の交通の要所とあって、駅舎と一体となった自由通路や円形歩道橋で歩車分離を行い、周辺交通の流れをスムーズにする機能も果たしています。



### 岡山市駅元町地区 第二種市街地再開発事業

岡山駅西口の駅元町地区において公共と民間双方による複合施設が計画され、大成建設は特定建築業者として事業に参画しています。また、同時に駅前広場や駅と接続されるペDESTリアンデッキの工事も進められ岡山の新しい賑わいの拠点として街づくりが進んでいます。



### JR秋葉原駅 大改修

常磐新線乗り入れに伴う利用者増加に備え、営業線の運行や27万人/日におよぶ乗降客の利用に支障をきたすことなく、コンコース拡幅などの大改修工事を行っています。空頭の低い高架橋下の基礎杭構築には、JR東日本と共同開発したストランド場所打杭工法を採用しました。

2001年度第3回国土技術開発賞受賞



### 小田急小田原線 新宿駅 南口開発"新宿サザンテラス"

新宿南口開発に伴い、小田急線の軌道の上に広大な人工地盤が構築されプロムナードとして利用がはかられています。人工地盤の構築には、営業線上空を効率的に施工するため、新たに開発したリフターワゴン工法が採用されています。



### 西武池袋線 練馬駅付近高架化

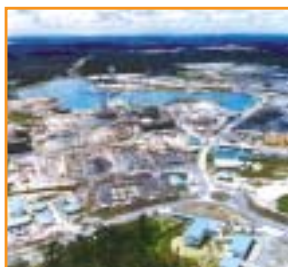
桜台・練馬駅付近2,140メートルの区間を連続高架化し、道路2カ所の立体交差化および7カ所の踏切を撤去。同時に営団地下鉄有楽町線との相互乗り入れに対応できるように整備されました。大成建設はこのうち、205メートル区間の工事を担当しました。

23

## 主な施工中工事のご紹介

# UNDER CONSTRUCTION

TALSEI  
Circle



マレーシア国立サラワク大学  
(マレーシア サラワク州)



インド プルリア 揚水発電所  
建設工事  
(インド 西ベンガル州)



※日本最大規模の  
シールドマシン「もぐちゃん」

神田川・環状七号線地下調節池(第二期)シールド工事  
(東京都杉並区・中野区)



大宮鐘塚A地区第一種市街地  
再開発事業施設  
建築物等建設工事  
(埼玉県さいたま市)



シンボルタワー(仮称)  
建設工事  
(香川県高松市)



泊発電所3号機増設工事のうち土木準備工事  
および関連除却工事(整地工区)  
(北海道古宇郡)

24

25

## 主な受注工事のご紹介

# CONTRACTS RECEIVED

物件名	所在地	発注者
アラブ首長国連邦 送水管工事	アラブ首長国連邦	アブダビ水・電力庁
太平四丁目錦糸町開発計画のうち業務・商業棟新築工事	東京都	錦糸町プロジェクト特定目的会社
日本橋浜町三丁目西部地区第一種市街地再開発事業施設建築物建設工事	東京都	日本橋浜町三丁目西部地区市街地再開発組合
長岡中央総合病院移転新築工事	新潟県	新潟県厚生農業協同組合連合会
八王子城跡トンネル(その4) 工事	東京都	国土交通省関東地方整備局



ブルデンシャルタワー  
(東京都千代田区)  
発注者:ロックウッド・  
ベンチャー・ワン・エル  
エルシー



サウザンドシティ  
(神奈川県川崎市)

発注者:神奈川県住宅供給公社・川崎市住宅供給公社



汐留D南街区  
マンション計画  
(東京都港区)  
発注者:汐留地区D  
南街区開発事業共  
同企業連合体



九州新幹線田上トンネル(北)その2工事  
(熊本県八代郡)

発注者:日本鉄道建設公団九州新幹線建設局





新宿文化クイントビル  
(東京都渋谷区)

発注者: (学)文化学園・(株)フジクラ・  
東京都市開発(株)・京王電鉄(株)



パンパンガ・デルタ灌漑プロジェクト  
(フィリピン ルソン島中部パンパンガ州)

発注者: フィリピン政府灌漑庁



ポートアイランド沖護岸築造工事(その4)  
(兵庫県神戸市)

発注者: 神戸市



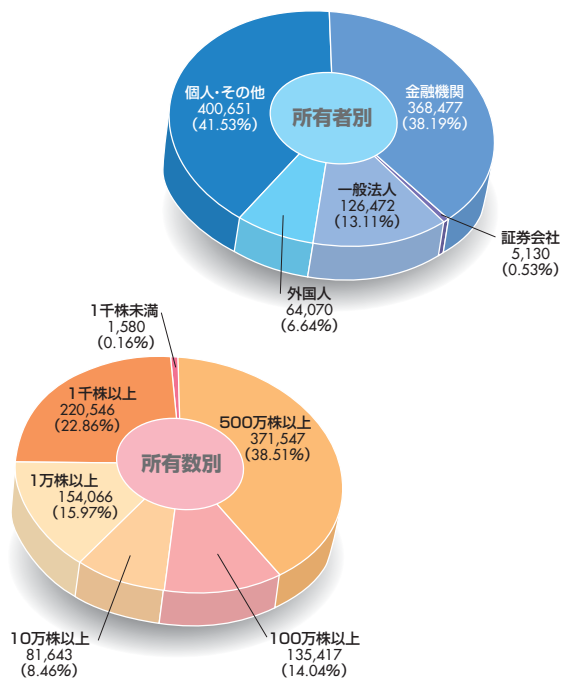
ホテル日航ジャカルタ  
(インドネシア ジャカルタ特別州)

発注者: PT.WISMA NUSANTARA INTERNATIONAL

## 1 株式の異動

会社が発行する株式の総数 1,145,000,000株  
 発行済株式総数 964,802,821株  
 当期末株主数 117,789名  
 当期中の名義書換件数 4,272件  
 当期中の名義書換株式数 93,413,754株

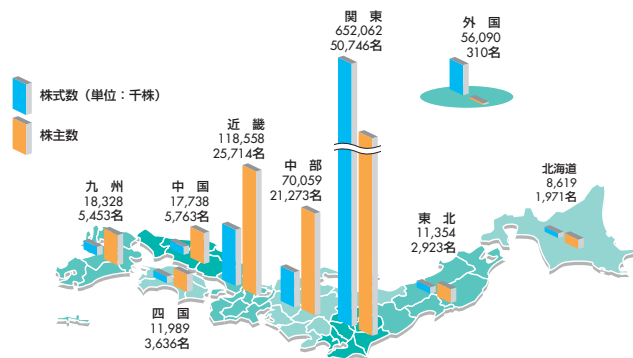
## 2 株式分布状況 (単位：千株)



## 3 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トヨタ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	71,911	7.45
大成建設社員持株会	36,953	3.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	36,807	3.81
大成建設取引先持株会	24,062	2.49
株式会社りそな銀行	23,772	2.46
みずほ信託退職給付信託 みずほコーポレート銀行口	23,180	2.40
三菱地所株式会社	17,604	1.82
みずほ信託退職給付信託 みずほ銀行口	16,108	1.67
安田生命保険相互会社	15,166	1.57
住友信託銀行株式会社(信託B口)	13,189	1.37

## 4 地域別株式分布状況





## ■商号

大成建設株式会社  
(英文名 TAISEI CORPORATION)

## ■設立年月日

1917年(大正6年)12月28日

## ■資本金

94,348,298,842円

## ■本店

東京都新宿区西新宿一丁目  
25番1号 新宿センタービル  
電話03(3348)1111

## ■従業員数 10,048名

## ■支店

東京支店 (東京都新宿区)	四国支店 (高松市)
関西支店 (大阪市)	千葉支店 (千葉市)
名古屋支店 (名古屋市中)	関東支店 (さいたま市)
九州支店 (福岡市)	神戸支店 (神戸市)
札幌支店 (札幌市)	京都支店 (京都市)
東北支店 (仙台市)	川崎支店 (川崎市)
広島支店 (広島市)	国際支店 (東京都新宿区)
横浜支店 (横浜市)	中東支店 (アラブ首長国連邦)
北信越支店 (新潟市)	台北支店 (台湾)

## ■事業本部

住宅事業本部

## ■技術センター (横浜市)

## ■国内営業所等 85か所

## ■海外営業所

ソウル営業所  
香港営業所  
ミャンマー営業所(ヤンゴン)  
クアラルンプール営業所  
シンガポール営業所  
ジャカルタ営業所  
ロンドン営業所  
アメリカ営業所(カリフォルニア)  
ハワイ営業所  
ペルー営業所(リマ)

## ■役員 (2003年6月27日現在)

### ●取締役

代表取締役会長	平島 治
代表取締役社長	葉山莞児
取締役	早川正一
代表取締役	本田泰三
取締役	市川正美
取締役	鶴田宣彦
取締役	南部邦彦
代表取締役	子田征基
取締役	田丸 浩
取締役	山田 浩
取締役(非常勤)	関谷哲夫
取締役(非常勤)	山本恵朗

\*関谷哲夫、山本恵朗は、商法188条第2項第7号の2に定める社外取締役です。

### ●執行役員 (2003年7月1日現在)

※社長	葉山莞児
※副社長	早川正一
※副社長	本田泰三
※副社長	市川正美
※副社長	鶴田宣彦
※副社長	南部邦彦
※副社長	子田征基
専務役員	廣田保之
※専務役員	田丸 浩
専務役員	伊藤美喜男
専務役員	増田光男
専務役員	奥村紘司
※専務役員	山田 浩
専務役員	詫間博康
専務役員	園田邦之
専務役員	萩原弘道
常務役員	古林 徹
常務役員	菊岡保人
常務役員	氏原完典
常務役員	小林幸夫
常務役員	井川文雄
常務役員	岡崎洪太郎
常務役員	山内隆司
常務役員	高橋大輔
常務役員	名和洋介
常務役員	小倉勝彦

### ●監査役

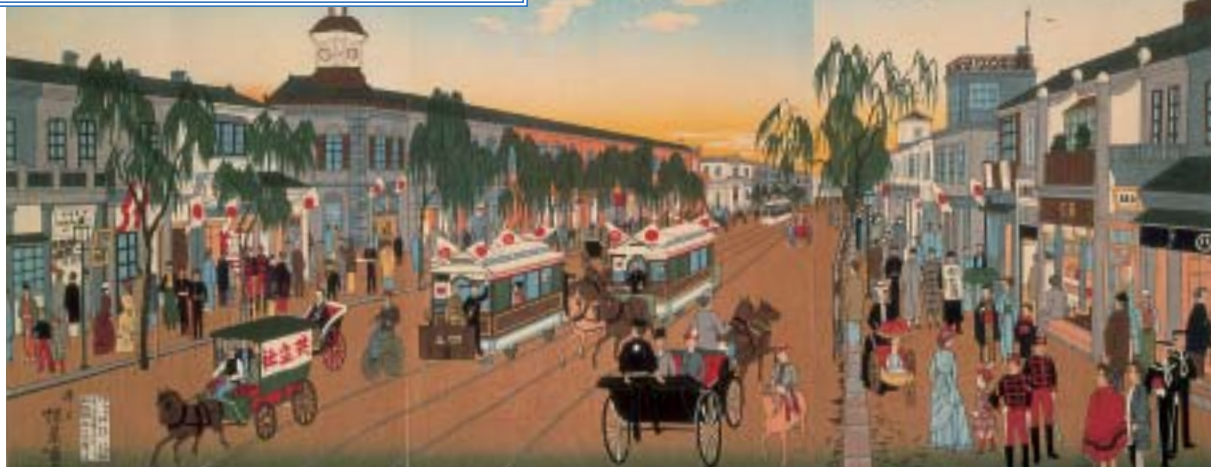
常任監査役(常勤)	潮田 徹
常任監査役(常勤)	伊藤喜栄
常任監査役(常勤)	赤堀俊雄
監査役(非常勤)	山本 正
監査役(非常勤)	樋口武文

\*山本 正、樋口武文は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役です。

常務役員	可児才介
常務役員	小林将志
常務役員	岡本 敦
執行役員	寺下 均
執行役員	中山靖之
執行役員	瀬川昌彌
執行役員	中津海光夫
執行役員	久間忠勝
執行役員	日比野宏明
執行役員	駒井勇夫
執行役員	光岡 宏
執行役員	藤崎忠俊
執行役員	藤原義弘
執行役員	久保博司
執行役員	木村洋行
執行役員	五木田通夫
執行役員	中村賢二
執行役員	河村壮一
執行役員	茂手木信行
執行役員	窪添貴治
執行役員	平野邦彦
執行役員	多田博是
執行役員	永嶋 功
執行役員	関 哲雄
執行役員	荒井康博

※は取締役兼務者です。

## 錦絵になった大成建設の仕事



東京銀座通煉化石造真図 井上探景画

大火後に生まれた、近代都市計画の先駆け

# 「銀座煉瓦街」

明治維新を迎え、外人居留地、鉄道の建設など、生活にさまざまな西洋化の波が押し寄せ、近代的都市計画の先駆けともいえる、銀座煉瓦街も誕生しました。そのきっかけとなったのが明治2(1869)年と明治5(1872)年、銀座全域を見舞った2度の大火。42の町が被災し、5千余軒の家屋が焼失するという大火事で、銀座は大半が灰燼に帰してしまいました。大火後まもなく、時の政府は、銀座を不燃の煉瓦による西洋建築の街へとする都市計画に着手。欧米並みの首都にしたいと考えた政府が新都市の設計に当たらせたのが、イギリス人建築家 T.J. ウォートルズです。

建物の設計から、材料の調達、街路樹まで計画のすべてをまかされたウォートルズの設計は当時ロンドンで流行していたジョージアン様式。製造が始まったばかりの煉瓦で2階建ての洋館を築き、1階にはアーケード、その上にベランダを張り巡らせ、アーチ型の窓や出入り口を設けました。中央通りは道幅が約13mから27mに広げ

られ、馬車が通る車道と煉瓦で舗装した歩道に分けられ、街路樹が植えられました。

明治6(1873)年10月、西洋風の煉瓦の街並みが完成。大成建設の前身・大倉組商会の創業者、大倉喜八郎はこの工事の一部、銀座1丁目を担当。綿密な工事とその技術は高く評価されました。

表通りに鉄道馬車が走るようになった明治15(1882)年11月、当時、電力会社の発起人のひとりだった大倉喜八郎は、銀座2丁目にあった大倉組商会の建物に発電機を据え付け、路上にアーク灯を灯すというデモンストレーションを行いました。

「お天道さまの次はお月さま。その次がアーク灯」と日本で初めての電灯、アーク灯の灯る銀座通りは多くの見物人であふれました。



東京銀座通電気燈建設之図 野沢定吉画

D A T A

明治6(1873)年10月竣工

設計:T.J. ウォートルズ

- 1 決算期** 3月31日
- 2 定時株主総会** 6月中
- 3 配当金** 利益配当金は毎年3月31日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載又は記録された株主、登録質権者又は信託の受託者にお支払いいたします。なお、取締役会の決議により、毎年9月30日の最終の株主名簿(実質株主名簿を含む。)に記載又は記録された株主、登録質権者又は信託の受託者に中間配当を行うことがあります。
- 4 上場証券取引所** 東京・大阪・名古屋・福岡・札幌・フランクフルト(独)
- 5 名義書換代理人  
同事務取扱所  
(郵便物送付先  
及びお問合せ)** みずほ信託銀行株式会社  
〒135-8722  
東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
みずほ信託銀行株式会社証券代行部  
電話 03(5213)5213(代表)
- 同 取次所** みずほ信託銀行株式会社全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社本店  
及び全国各支店
- 手 数 料** 名義書換：無料/株券再発行：株券1枚につき200円 ただし、併合及び満欄の場合は無料/単元未満株式の買取り：株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額/株券喪失登録：申請1件につき10,000円 喪失登録する株券1枚につき500円
- 6 公告掲載新聞名** 東京都において発行する日本経済新聞  
※貸借対照表及び損益計算書掲載のホームページアドレス (<http://www.taisei.co.jp/>)

- ① 株式事務取次所 みずほアセット信託銀行株式会社は、2003年3月12日をもちまして、みずほ信託銀行株式会社と合併し、社名を「みずほ信託銀行株式会社」に変更しております。
- ② 「商法等の一部を改正する法律」の施行に伴い、本年4月1日より、株券を喪失した場合の手続きとして、従来の公示催告・除権判決制度に代り、株券失効制度が創設されました。本件に関する具体的な手続きやお問合せは、当社の名義書換代理人までお願い申し上げます。



## 大成建設株式会社

TAISEI 〒163-0606 東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 電話03(3348)1111

<http://www.taisei.co.jp/>